

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第25週[6月20日～6月26日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

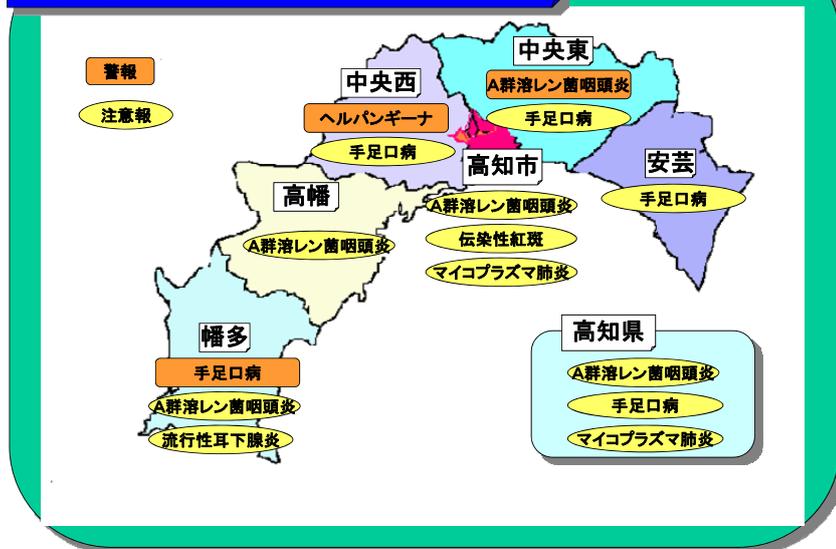
注意報発令疾患：手足口病，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，マイコプラズマ肺炎

- 梅雨の中休みとなり，週の半ばは晴れ間が広がったが，週末は局所的に雨が激しく降った。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（中央東：警報，高知市：注意報→注意報，高幡：注意報→注意報，幡多：注意報）は中央東と幡多で増加し，総数は増加に転じた。
- 手足口病（幡多：警報，中央西：注意報，中央東：注意報，安芸：注意報）は高知市を除く地域で増加し，総数は約2倍に増加した。
- ヘルパンギーナ（中央西：警報→警報）は中央東と幡多でやや減少したが，その他の地域で増加し，総数は約1.5倍に増加した。中央西では警報値を大きく超す流行となっている。
- マイコプラズマ肺炎（高知市：注意報→注意報）は高知市で増加し，注意報値を越す流行が続いている。
- 感染性胃腸炎は引き続き減少し，100例を下回った。例年通りであれば，10月末頃までは2桁の低いレベルで推移すると思われる。

上位疾患構成図

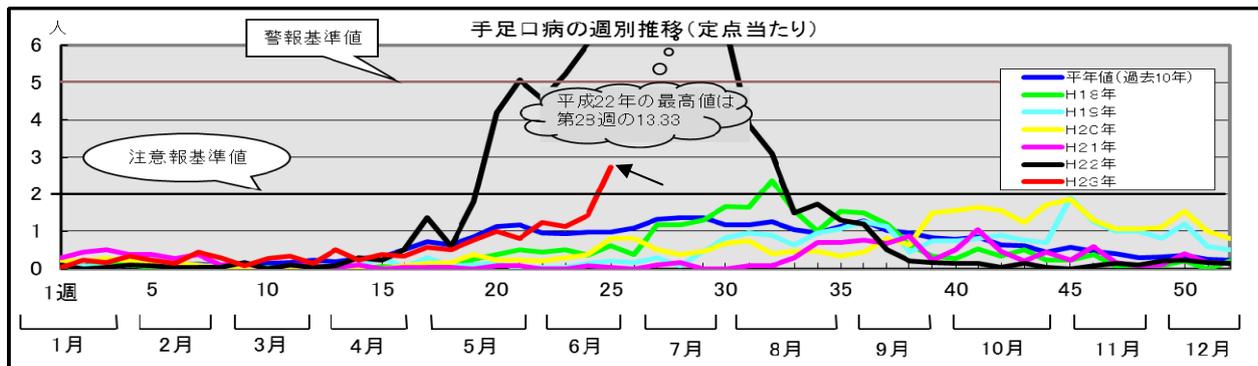


地域別感染症注意報・警報発生状況 第25報（2011年6月20日～2011年6月26日）



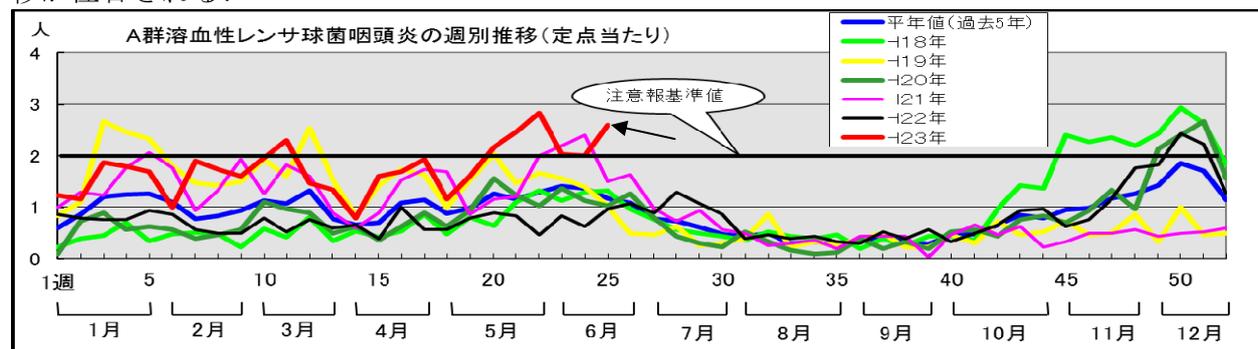
手足口病：今週 2.73 （注意報値：2.00 警報値：5.00）

総数は大幅に増加し，注意報値を上回った。地域毎にみると幡多で警報値を，中央西，中央東，安芸で注意報値を超した。年齢別にみると4歳以下で約9割を占め，特に1～2歳からの報告が多い。今後は流行のピークに向かって報告数の増加が続くと思われるので，注意が必要である。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週 2.60 （注意報値：2.00 警報値：4.00）

例年通りであれば減少していく時期であるが、今週は再び増加に転じた。特に中央東で3倍以上増加し、警報値を越した。その他高知市、高幡、幡多で注意報値を越している。来週以降の推移が注目される。



検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
25	インフルエンザ	7歳 女	高知市	Influenza virus B NT

前週以前に搬入された検体から検出された病原体

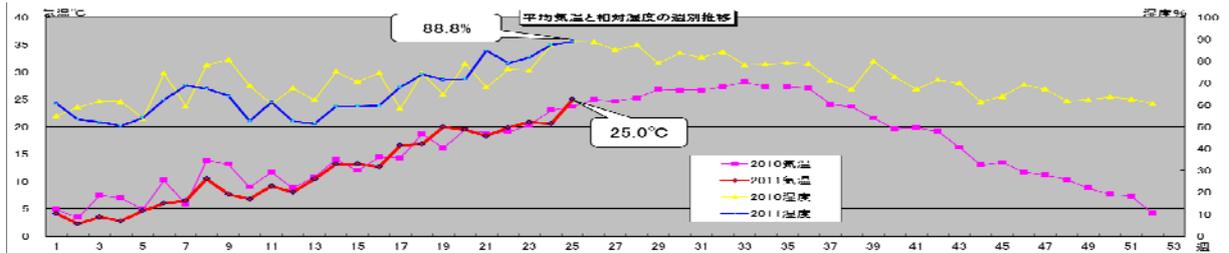
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
10	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
10	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
10	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
10	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
11	手足口病	1歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
11	ヘルパンギーナ	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
12	手足口病	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
12	手足口病	11ヵ月 男	高幡	Coxsackievirus A6
13	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
14	ヘルパンギーナ	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
14	手足口病	11ヵ月 男	高幡	Coxsackievirus A6
17	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
17	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
17	ヘルパンギーナ	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
19	ヘルパンギーナ	8ヵ月 男	高幡	Coxsackievirus A6
19	手足口病	11ヵ月 男	高幡	Coxsackievirus A6

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 6例（70代男）《須崎》（70, 80代女, 20代男）《中央東》（80代男）《安芸》（80代男）《高知市》（今年76例）

5類感染症：後天性免疫不全症候群 1例（60代男）《中央東》（今年2例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 2例（1歳男，3歳女） マイコプラズマ感染症 1例（11歳女）
 《松谷内科》：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1例（4歳男）

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴なし
 マイコプラズマ肺炎 1例（2歳男） アデノウイルス扁桃炎 3例
 カンピロバクター腸炎 6例（前週：5例，今週：1例）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの1例（高知市内の高校1年生）はB型陽性
 《日高クリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例（13，58歳女） 流行性角結膜炎 2例（6，8歳男）

高知市：

《福井小児科・内科》：伝染性紅斑が多発している地域あり
 《けら小児科・アレルギー科》：病原性大腸菌 2例（0-74:11歳男，0-1:18歳女）ペロ毒素陰性
 カンピロバクター腸炎 4例（11歳男:2例，6，18歳女）
 アデノウイルス陽性 1例（5歳女） 帯状疱疹 1例（5歳女）

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が30例と非常に多かった

全国情報第23週（6/6～6/12）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核362例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症101例（有症者65例、うちHUS 2例）、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病10例、日本紅斑熱5例、マラリア2例、レジオネラ症11例

5類感染症：アメーバ赤痢5例、ウイルス性肝炎7例（B型3例、C型3例、EB1例）、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 3例、無症候9例）、ジアルジア症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、梅毒20例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん12例、麻しん15例

報告遅れ：チクングニア熱1例、マラリア1例、急性脳炎3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん11例

◆腸管出血性大腸菌感染症（2011年6月15日現在）

2011年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第16週までは30例以下の報告が続いていたが、例年よりも早い第17週から増加し始めた。集団感染事例（食中毒を含む）が複数発生したため、報告数が第18週71例、第19週142例と急増した。第20週以降は一旦減少したが、第22週の53例を境に再び増加に転じ、第23週は101例であった。本年第23週までの累積報告数786例は、2000年以降の同週までの各年別累積報告数と比較して2001、2010年に次いで3番目に多い報告数である。

第1～23週の累積報告数786例についてみると、報告の多い都道府県は、食中毒による集団発生を反映して富山県（111例）、山形県（106例）が多く、次いで千葉県（56例）、島根県（49例）、神奈川県（39例）となっている。性別では男性353例、女性433例、年齢群別では0～9歳215例、10～19歳150例、20～29歳118例の順に多かった。

腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）の発症は、第23週までに累計46例（男性19例、女性27例；有症状者におけるHUS発症率8%）報告されており、年齢群別では0～4歳5例、5～9歳8例、10～14歳6例、15～64歳22例、65歳以上5例であった。このうちの30例は富山県を中心とした同系列の焼肉店で発生した食中毒（O111 VT2、O157VT1・VT2など）の患者であり、うち13例は脳症も発症していた。また、4例は山形県のだんご店に関連した食中毒（O157 VT1・VT2）患者である。残りの12例のうち、推定または確定された感染源・感染経路として肉の喫食が記載されていた者が6例あり、そのうち生肉を喫食していた者は2例（いずれも10～14歳）であった。

死亡例は1例（80代男性、O157 VT1・VT2、HUS発症）報告されている。

本年これまでに認められている集団感染事例は、第17週に富山県（焼肉店、O111 VT2、O157 VT1・VT2などによる食中毒）、第18週に島根県（福祉施設、O26 VT1・VT2）と山形県（だんご店、O157 VT1・VT2による食中毒）、第20週に富山県（焼肉店、O157 VT1・VT2による食中毒）などで発生し、4月末から5月にかけて多発している。新たに第22週には千葉県（保育所、O145 VT1）で、第23週には熊本県（飲食店、O型別不能VT2による食中毒）で集団感染が発生している。

今後、毎年本症が数多く発生する夏季を迎えるにあたり、その発生動向には注意が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(24週)	高知県(25週末累計) H23/1/3~H23/6/26	
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ				1	2	3 (0.06)	7 (0.15)	1,408 (0.29)	12,324 (256.75)		
小児科	咽頭結膜熱		1		1		3	5 (0.17)	6 (0.20)	2,293 (0.73)	159 (5.30)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		32	29	2	5	10	78 (2.60)	60 (2.00)	7,107 (2.26)	1,319 (43.97)	
	感染性胃腸炎	9	11	33	11	3	10	77 (2.57)	109 (3.63)	15,256 (4.86)	5,886 (196.20)	
	水痘		8	10		1	5	24 (0.80)	23 (0.77)	6,511 (2.07)	1,196 (39.87)	
	手足口病	4	20	20	9	2	27	82 (2.73)	43 (1.43)	8,166 (2.60)	428 (14.27)	
	伝染性紅斑	1		13		1	2	17 (0.57)	11 (0.37)	3,013 (0.96)	207 (6.90)	
	突発性発疹		6	10	2		5	23 (0.77)	14 (0.47)	2,169 (0.69)	358 (11.93)	
	百日咳									112 (0.04)	10 (0.33)	
	ヘルパンギーナ	2	12	17	20	3	1	55 (1.83)	40 (1.33)	2,687 (0.86)	231 (7.70)	
	流行性耳下腺炎		1	8				7	16 (0.53)	3 (0.10)	3,474 (1.11)	187 (6.23)
	RSウイルス感染症									247 (0.08)	557 (18.57)	
眼科	急性出血性結膜炎									129 (0.19)	(0.00)	
	流行性角結膜炎								2 (0.67)	553 (0.82)	24 (8.00)	
基幹	細菌性髄膜炎									11 (0.02)	2 (0.29)	
	無菌性髄膜炎									14 (0.03)	10 (1.43)	
	マイコプラズマ肺炎			5				5 (0.71)	3 (0.43)	236 (0.51)	52 (7.43)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									14 (0.03)	3 (0.43)	
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	91 (13.00)	145 (12.73)	46 (15.20)	17 (8.00)	70 (14.00)	385 (12.63)					
前週 (小児科定点当たり人数)	15 (7.50)	59 (8.38)	147 (12.88)	48 (16.00)	19 (8.25)	33 (6.60)		321 (10.45)	53,400	22,953 (608.02)		

定点当たり

第25週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(24週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ				0.20	0.50	0.06	0.15	0.29	
小児科	咽頭結膜熱		0.14		0.33		0.60	0.17	0.20	0.73
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4.57	2.64	0.67	2.50	2.00	2.60	2.00	2.26
	感染性胃腸炎	4.50	1.57	3.00	3.67	1.50	2.00	2.57	3.63	4.86
	水痘		1.14	0.91		0.50	1.00	0.80	0.77	2.07
	手足口病	2.00	2.86	1.82	3.00	1.00	5.40	2.73	1.43	2.60
	伝染性紅斑	0.50		1.18		0.50	0.40	0.57	0.37	0.96
	突発性発疹		0.86	0.91	0.67		1.00	0.77	0.47	0.69
	百日咳									0.04
	ヘルパンギーナ	1.00	1.71	1.55	6.67	1.50	0.20	1.83	1.33	0.86
	流行性耳下腺炎		0.14	0.73			1.40	0.53	0.10	1.11
	RSウイルス感染症									0.08
眼科	急性出血性結膜炎									0.19
	流行性角結膜炎							0.67	0.82	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.03
	マイコプラズマ肺炎			1.00				0.71	0.43	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	13.00	12.73	15.20	8.00	14.00	12.63			
前週 (小児科定点当たり人数)	7.50	8.38	12.88	16.00	8.25	6.60		10.45		

